

## 施策評価シート（平成28年度実施分）

基本姿勢	3	にぎわいを創る「交流のしま」
政 策	1	魅せる観光交流のしまづくり
基本方針	観光客の動向を的確に捉え、本町の魅力を積極的に発信し、「また上五島を訪れたい」と思っただけのような観光メニューの充実を図ることで観光客の満足度を高めていきます。 また、地域を越えた様々な交流を創出し、それに対応する受け入れ体制や環境の整備を進めていくとともに国際的視野を持った人材の育成と国際交流の推進に取り組みます。	

基本施策	3-1-①	にぎわいを生む観光の振興	
主管課名	観光商工課	所属長名	安 永 佳 秀
関係課名	文化財課		
	基本施策の評価		
	<p><b>○歴史・産業と豊富な観光資源を連携させ、体験型、学び型、ふれあい型の体験観光の展開</b></p> <p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・探訪～四季を味わう上五島事業において、四季折々の島の歴史や観光資源等をいかした観光イベントに今後も取り組んでいく。また、上五島教会めぐりウォーク&amp;クルーズにおいては、島ぐるみのおもてなしの心、ふれあいを大切にするイベントとして、今後も、上五島ふるさとガイドの会や地元の方など関係者に、ご協力をお願いしながら取り組んでいく。</li> </ul> <p>■平成28年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に引き続き、探訪～四季を味わう上五島事業を観光物産協会と連携して、観光イベント等に取り組んだ。</li> <li>①ほたるのふるさと相河川まつり（H28来場者数2,175人うち島外465人）</li> <li>②蛤浜で遊ぼうデー&amp;白砂の芸術祭（H28来場者数2,500人うち島外250人）</li> <li>③上五島教会めぐりウォーク&amp;クルーズ（H28参加者数131人うち島外96人）</li> <li>④チャーチウィークin教会コンサート（H28来場者数993人うち島外142人）</li> <li>⑤五島列島ノルディックウォーク（H28参加者数111人うち島外55人）</li> <li>⑥クルーズ船誘客事業（8回寄港）</li> </ul> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年4月に発生した熊本地震により、本町においても観光客が減少、震災後も長い期間影響を与えたが、観光イベント参加者数はリピーター等も多いため、前年度と比較し島外参加者は117人の減少に留まった。クルーズ船は、これまでの誘致活動等により、8回寄港の過去最高となり本町の観光振興に大きく寄与することができた。</li> </ul> <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四季折々の島の歴史や観光資源等を活かし、宿泊を促進する観光イベントを観光関係者や地域住民と連携してリピーター確保に向け取り組んでいくとともに、更なる島の魅力を情報発信しながら交流人口の拡大に取り組んでいく。</li> </ul> <p><b>○特産品や郷土料理等の観光資源としての活用、伝統的な食の復活や改良、椿を観光資源としての活用</b></p> <p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「漁師の朝飯」については、多くの団体ツアーのお客様に大変好評であることから、今後も更に島らしさを味わうことができる観光資源の活用について観光物産協会、地元漁協など関係団体と連携して取り組んでいく。椿ロード・ノルディック・ウォークは、閑散期対策として効果的であるため、コース内容などを検討しながら引き続き実施していく。</li> </ul> <p>■平成28年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に引き続き、観光物産協会を窓口として、地元漁協と連携し「漁師の朝飯」に取り組んだ。また、探訪～四季を味わう上五島事業において、「椿ロード・ノルディック・ウォーク」を開催した。【島外参加者：H27：45人→H28：55人】</li> </ul> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「漁師の朝飯」は、熊本地震の影響で団体ツアー客の減少により平成27年度に比べ大きく下回った。椿ロード・ノルディック・ウォークは、島外の参加者が昨年度から徐々に増えつつあり、閑散期対策として効果的な事業となってきた。</li> </ul>		

#### ■今後の取組方針

・「漁師の朝飯」については、今後も島らしさを味わうことができる観光資源として観光物産協会を中心に誘致活動に取り組んでいく。椿ロード・ノルディック・ウォークは、効果的な事業となるよう、コース内容などを更に検討しながら引き続き実施していく。

#### ○観光ガイド等の観光人材育成強化、町民への意識啓発による、おもてなしの観光地づくり

##### ■平成27年度における課題等に対する取組方針

・上五島ふるさとガイドの会については、平日に対応できるガイド人数に限りがあるため、ガイド力のレベルアップをはじめ、新規ガイド加入も含めた研修、講習会等に対して、今後も引き続き支援を行っていく。また、直接観光客に接する宿泊施設など観光関係者を対象とした研修会を引き続き実施し、おもてなしの観光地づくりに取り組んでいく。

##### ■平成28年度の取組概要

・五島列島おもてなし協議会（五島市・新上五島町・小値賀町で構成）の事業として、上五島ふるさとガイドの会の案内で巡る着地型旅行商品「五島列島キリシタン物語」を実施、観光関係者等を対象に「おもてなし講演会」を開催、宿泊施設向け視察研修会を実施した。

##### ■評価（問題点とその要因）

・満足度の高いおもてなしで観光客を案内する上五島ふるさとガイドの会の役割は大きく、ガイド力向上のための研修等の取り組みは重要であり、「五島列島キリシタン物語」など観光客を案内することによりガイド力向上につながっている。また、おもてなしの心で観光客を受け入れ、リピーターを増やしていくためには、宿泊施設など観光関係者を対象とした研修会の開催は、継続していく必要がある。

##### ■今後の取組方針

・上五島ふるさとガイドの会の役割は大きく、ガイド力のレベルアップをはじめ、新規ガイド加入も含めた研修、講習会等、ガイドの会の活動に対して、引き続き支援を行っていく。また、直接観光客に接する宿泊施設など観光関係者を対象とした研修会を引き続き実施していく。

#### ○歴史・文化・自然などの魅力を活かした新たな観光ルートや観光商品の創出、事業者と連携した観光産業化の推進

##### ■平成27年度における課題等に対する取組方針

・「五島神楽」「漁師の朝飯」のような観光素材の一つとして定着できるものを、関係団体等と協議をしながら新たな観光ルートや観光商品の創出にむけ取り組んでいく。また、「五島列島キリシタンクルーズ」のように、広域的に周遊できる観光ルートの開発についても、県、関係自治体等と協議しながら構築に向け取り組んでいく。

##### ■平成28年度の取組概要

・観光物産協会が主体となり「五島神楽」鑑賞や「漁師の朝飯」など、魅力ある観光素材を旅行会社へ情報発信し、町内を満喫するツアー造成に向けて取り組んだ。また、県、五島市、本町で連携している個人対応型着地型旅行商品「五島列島キリシタンクルーズ」（利用者892人）や、ガイドの会の案内でタクシーで巡る「五島列島キリシタン物語」（利用者118人）に取り組んだ。

##### ■評価（問題点とその要因）

・「五島神楽」や「漁師の朝飯」は、ツアー造成に向けて取り組んだものの熊本地震の影響で団体ツアー客は減少してしまった。「五島列島キリシタンクルーズ」、「五島列島キリシタン物語」は、前年度並みの利用があり、個人観光客の受入体制に効果があった。

##### ■今後の取組方針

・「五島神楽」、「漁師の朝飯」については、今後も島の観光資源として観光物産協会を中心に誘致活動に取り組んでいく。特に世界遺産登録に向けて「五島列島キリシタンクルーズ」、「五島列島キリシタン物語」については、引き続き個人観光客が周遊できる事業として継続して取り組んでいく。

#### ○「長崎EV&ITSプロジェクト」のシステム等を活用した未来型ドライブ観光推進と運営充実

##### ■平成27年度における課題等に対する取組方針

・急速充電器等機器や新上五島町EV・ITS実配備促進協議会所有のEV車両の維持管理に努め、「長崎EV&ITSプロジェクト」を活用した観光振興を図っていく。

##### ■平成28年度の取組概要

・昨年に引き続き、急速充電器等機器（8ヶ所13基）の維持管理及びITSスポット管理運営などを行った。また、導入から7年が経過し車両の劣化が見られる町内レンタカー事業に使用しているi-MiVEは、三菱自動車工業の協力を得て、駆動用電池無償交換を行った。

■評価（問題点とその要因）

・新上五島町EV・HIS実配備促進協議会所有のEV車両（I-M I V E）は駆動用電池無償交換を行ったものの、急速充電器等機器や車両自体が老朽化していく状況において、今後の維持管理が課題である。

・スマートフォンの発達により、ナビ情報よりリアルタイムに情報を集める時代となっている。レンタカーのナビ利用のみ(38台)観光情報等更新していく作業が非効率的である。

■今後の取組方針

・急速充電器メーカー技術者のメンテナンスを行うとともに、三菱自動車の協力で交換した駆動用電池の定期測定の期間（1回/年）に併せて、定期測定非該当の協議会所有EV車の電池測定を行い（任意、使用者自己負担）、車両のメンテナンス体制を強化し維持管理に努めていく。

○観光動向の的確な分析、多様な媒体の有効活用による効果的・積極的な情報発信及び観光客誘致

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・今後も県と連携を図りながら、テレビ及び雑誌の取材に積極的に協力し情報発信に努めるとともに、国内旅行会社やクルーズ船旅行会社、韓国の旅行会社などを訪問し、積極的な観光客誘客に取り組んでいく。また、各種アンケート等を参考にしながら、町ホームページ及び町観光物産協会ホームページやフェイスブックなどにより、効果的・積極的な情報発信による観光客誘客に努めていく。

■平成28年度の取組概要

・昨年度に引き続き、県観光関連部署のプレスツアーや、テレビや雑誌の取材に積極的に協力し、情報発信（無料）を行った。また、探訪～四季を味わう上五島事業で、国内旅行会社やクルーズ船旅行会社、韓国の旅行会社などを訪問し、積極的な観光客誘客に取り組んだ。

■評価（問題点とその要因）

・平成28年4月に発生した熊本地震により、本町においても観光客が減少、震災後も長い期間影響を与えたが、その打開策として県と連携して多様な媒体での情報発信や旅行商品企画など誘客に向け取り組んだことにより、観光客の減少を最小限に抑えることにつながった。

■今後の取組方針

・各種アンケートや観光動向を参考にしながら、観光イベント等の事業に取り組み、町を含め関係団体のホームページ、SNSなどの活用、また、県等と連携してテレビ、雑誌等の取材に積極的に協力し情報発信の強化に努めていくとともに、国内旅行会社、クルーズ船旅行会社、韓国の旅行会社等を訪問し、積極的に観光客誘客に取り組んでいく。

○タクシー・レンタカーを利用した観光プランの再構築、民間事業者と連携した島内交通システムの充実、観光客の様々な要求に応えられる体制整備

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・「五島列島キリシタン物語～上五島編～」については、更なる満足度向上を目指したコースの検討を行うとともに、積極的な情報発信に努めていく。また、世界遺産登録に向け観光客の増加が予想されるため、タクシー協会やレンタカー会社などと連携を図り、充実した観光プランの体制整備に取り組んでいく。

■平成28年度の取組概要

・個人観光客向け着地型旅行商品「五島列島キリシタン物語～上五島編～」は、観光客の満足度を高めるためコースの見直しを行った。また、世界遺産登録に向けた交通対策として、タクシーやレンタカー事業者等の交通機関に協力をいただき、繁忙期に上五島空港から白浜地区へのパーク＆ライドの実証に取り組んだ。

■評価（問題点とその要因）

・実施二年目となる「五島列島キリシタン物語～上五島編～」は、コースの見直し等により、参加者数は昨年度より90人増加し118人が利用したが、継続的な情報発信が必要である。また、世界遺産登録へ向けた交通対策については、町内交通事業者と意見交換を行う機会が少なかった。

■今後の取組方針

・引き続き、個人観光客の満足度を高めるため五島列島キリシタン物語をはじめ、観光プランの情報発信充実に努めていくとともに、頭ヶ島パーク＆ライドの体制構築に向け町内交通事業者との意見交換を行っていく。

○外国語表示を取り入れるなど案内機能の充実、より多くの観光客を受け入れるための既存宿泊施設等の有効活用や後継者の育成など受入体制づくりの促進

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・町ホームページ、既存宿泊施設へ情報発信を行い、宿泊施設受入体制支援事業の活用を図り、受入体制づくりを促進していく。

	<p>■平成28年度の取組概要</p> <p>・町内宿泊施設の受入環境の充実を図るため、宿泊施設の新築、増改築、改修工事等を実施する者に対して支援を行い、旅館営業11件、簡易宿所営業8件（うち新規3件）、ホテル営業1件、農林漁業体験民宿2件、計22件の宿泊施設の受入環境の整備を図ることができた。</p> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <p>・既存宿泊施設の改修（客室、トイレ、浴室、空調設備）により、施設の魅力向上を図られた。特に3件の新規宿泊施設ができたことにより、旅行者の受入環境の利便性向上が図られた。</p> <p>■今後の取組方針</p> <p>・事業により滞在時の利便性向上が図られるため、今後も継続して実施していく。また、リピーター確保を目指していくため、宿泊事業者の人材育成等に向けた支援策を構築していく。</p>		
2次評価	<p>・観光ニーズや旅行形態の変化など、観光を取り巻く環境に適切に対応していくためには、地域特有の歴史や文化、自然などを体験し、朝・昼・夕・夜のプログラムをつくりあげ、滞在型観光の充実を図り、ビジター獲得とリピーター獲得のため、質の高い情報発信強化、期待を裏切らない仕組みづくりなど、付加価値を高めたいくための施策を町内関係者と一体となって取り組みを進めていくこと。</p>		
基本施策	3-1-②	国際交流・地域間交流の推進	
主管課名	観光商工課	所属長名	安 永 佳 秀
関係課名	総合政策課、学校教育課		
	<p style="text-align: center;">基本施策の評価</p> <p><b>○修学旅行誘致や離島体験、合宿誘致、スポーツ交流・文化交流などによる交流活動推進</b></p> <p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <p>・しまのキャンパス体験事業補助金制度による文化スポーツ合宿等については誘致活動にかなり効果的であり、今後も誘致活動を積極的に展開していく。また、体験メニュー等の新たな観光資源の開発などに努めていくとともに、修学旅行の誘致に向け検討していく。</p> <p>■平成28年度の取組概要</p> <p>・しまのキャンパス体験事業補助金制度を活用してもらうため、学生を対象とする旅行会社に対し誘致活動を行い、昨年度よりも多い学生が来島した。（44団体、宿泊者実数1,264人、延宿泊人数2,386人）また、観光物産協会と連携して日帰りの修学旅行1校の受入を行った。（188人）</p> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <p>・文化スポーツ合宿等においては、継続的に情報発信していることもあり、多くの学生に来島していただいている。しかし、修学旅行については、海上航路や宿泊施設の受入人数等に課題があり、誘客に向けた検討が引き続き必要である。</p> <p>■今後の取組方針</p> <p>・文化スポーツ合宿等においては、多くの学生に来島していただけるよう継続して情報発信等を行っていく。また、修学旅行については、来島していただいている学校に対し、継続して修学旅行に来ていただけるよう観光物産協会と連携して取り組んでいく。</p> <p><b>○各地域や団体等の育成・支援、相互交流体制づくりの促進</b></p> <p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <p>・今後、世界遺産登録に向け観光客の増加が予想されるため、観光物産協会をはじめ、観光関係団体と連携を図りながら、また、地域住民の方にもご協力をいただきながら、更なる観光客の受入体制構築に向け育成、支援に努めていく。</p> <p>■平成28年度の取組概要</p> <p>・昨年度に引き続き、観光物産協会を中心に上五島ふるさとガイドの会、旅館業組合、タクシー協会、バス事業者などの観光関係団体と連携を図り町内観光事業を実施し、観光客の受け入れに取り組んだ。</p> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <p>・観光客受入体制の充実を図るためには、観光関係団体だけではなく、地元事業者、地域住民等と一体となって取り組んでいく必要がある。</p>		

### ■今後の取組方針

・しまの魅力を活かし、もう1泊してもらうことによる滞在型観光のさらなる促進のため、観光物産協会をはじめ、観光関係団体との連携を図るとともに、地元事業者、地域住民等と一体となって取り組んでいくため、地域の各種団体の育成充実に努める。

### ○大学との連携などにより多様な交流事業の推進、離島の特性を活かす交流や出身者、ゆかりのある方々との交流ネットワークの形成・充実

#### ■平成27年度における課題等に対する取組方針

・観光物産大使として活躍されている方については、今後も引き続き、交流ネットワークの形成・充実を図っていく。また、本町の魅力を積極的に全国でPRしていただける町出身者や、産業、文化、芸術、スポーツ及び教育等の振興を通じ、本町とゆかりのある方など、観光物産大使として活動してもらえ人材の確保に向けて検討していく。

#### ■平成28年度の取組概要

・新上五島町にゆかりがあり、町外に居住する方で、本町の観光振興に寄与すると思われる方を観光物産大使と委嘱し、名刺や広報を含めた観光情報を送付、町の観光資源や魅力を様々な機会を通して発信していただいた。また、平成28年度はタレントの田井中将希氏に大使になっていただくことができた。

#### ■評価（問題点とその要因）

・今年度は田井中氏を大使に任命したことにより、田井中氏同行の上五島ツアー実施やノルディックウォーク参加など具体的な観光情報の発信を行うことができたものの、その他の大使の活動の充実を図っていくため、これまで広報紙や町の最新パンフレット等を提供し情報発信をお願いしてきたが、今後は情報発信や最寄りで開催されるイベント・キャンペーンなどでの応援等について、役割の明確化について検討していく必要がある。

#### ■今後の取組方針

・町の観光資源や魅力を様々な場所等で発信活動していただける本町にゆかりのある人材の確保に向けて検討を行っていく。

### ○外国人来訪者受入体制の整備（標識の外国語表示や外国人来訪者に対応できるボランティアの登録）

#### ■平成27年度における課題等に対する取組方針

・四カ国語版の観光案内板や誘導板については、計画的な修繕を行っていくとともに、多言語による観光パンフレット等については、離島活性化交付金を活用して製作していく。

#### ■平成28年度の取組概要

・「uni-voice」（四ヶ国語標記が無料アプリダウンロードにより読み取れるシステム）式による観光パンフレット8万部、教会ハンドブック7千部を作成し、世界遺産登録により増加が見込まれる外国人来島者の受入体制強化を図った。また、四カ国語の観光情報説明を見ることができエアサインやデジタルサインの維持管理を行った。

#### ■評価（問題点とその要因）

・上五島のイメージを伝えるため、パンフレットに「uni-voice」を起用したが、文字情報掲載数が限られているため、より多くの情報を母国語で記載したパンフレットの制作に向け今後検討していく必要がある。

#### ■今後の取組方針

・四カ国語版の観光案内板や誘導板については、計画的な修繕を行っていくとともに、今後も多言語による観光パンフレット等を作成し、HP、SNS等、外国人に伝わる文字情報で情報発信できるシステムを構築する。

### ○外国語講座や外国異文化講座の充実などによる国際的視野に立つ人材育成

#### ■平成27年度における課題等に対する取組方針

・今後、世界遺産登録に向け外国人観光客の増加が予想されるため、引き続き、外国人観光客受入体制整備事業による講座等や外国語通訳・翻訳員による韓国語講座を継続して行い、受入体制の整備、強化を図っていく。

#### ■平成28年度の取組概要

・昨年に引き続き、韓国のことを身近に感じていただき、日本と韓国との文化の違いなどについて学び、受入体制を整備するため、韓国語通訳・翻訳員による韓国語講座を開催した。

#### ■評価（問題点とその要因）

・韓国語講座に28名が参加し、韓国からの巡礼ツアーのガイドを体験するなど意欲が高まった。今後は、島内観光事業者と更に連携を図りながら、外国人観光客の受入体制強化に向けた人材育成に努めていく必要がある。

	<p>■今後の取組方針</p> <p>・今後、世界遺産登録に向け外国人観光客の増加が予想されるため、継続して韓国語講座を受講できるようにステップアップ式や、講座カリキュラムに上五島観光MAP外国語版作成体験や外国研修を導入するなど、講座の質に変化をもたせる。</p>
2次評価	<p>・引き続き、しまのキャンパス体験事業など、文化・スポーツなど地域を越えた様々な交流を創出し、また、世界遺産登録に向け、増加が見込まれる外国人観光客に対して、不自由なく滞在を楽しめる受入体制の整備など、県、関係団体等と連携して取り組みを進めていくこと。</p>

成果指標等の達成状況

指標名		基準値	H27	H28	H29	H30	H31
観光客宿泊数	目標	-	-	-	120,000人	122,000人	124,000人
	実績	78,854人	119,637人	115,689人	-	-	-
	達成率	-	100% (100%)	100% (100%)	-	-	-
観光消費額	目標	-	-	-	4,500 百万円	4,500 百万円	4,500 百万円
	実績	3,406 百万円	4,741 百万円	4,506 百万円	-	-	-
	達成率	-	100% (100%)	100% (100%)	-	-	-
離島体験等交流者数	目標	-	-	-	3,500人	3,700人	4,000人
	実績	3,266人	3,411人	3,159人	-	-	-
	達成率	-	19.8% (99.0%)	0% (0%)	-	-	-

施策事業の進捗状況

3-1-① にぎわいを生む観光の振興

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
1	(事業名) EV・ITS配備促進協議会運営補助事業 【観光商工課】 (事業目的) ・「長崎EV&ITSコンソーシアム」と連携し、協議会が行う低炭素社会実現のための電気自動車の導入事業、ITS（高度道路交通システム）と連動したドライブ観光システムの導入事業等を支援し、本町の観光振興、地域活性化及び教会群の世界遺産登録事業を推進する。 (事業概要) 町EV・ITS実配備促進協議会に対し補助金を支出。 EV車 58台 貸出 急速充電器維持管理 8ヶ所 13基	実施年度	平成21年度～	
		成果指標	電気自動車所有台数	
		目標値	58台	58台
		実績値	58台	58台
		達成率	100%	100%
		決算（見込）額	14,026千円	4,334千円
		成果指標及び目標値の説明	町EV・ITS実配備促進協議会所有の電気自動車を減らすことなく運用するため、電気自動車所有台数を成果指標とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	電気自動車のインフラを整備するため、頭ヶ島上五島空港に新たに急速充電器を設置した。	(取組実績)	メーカーと連携し、EV車電池を交換(レンタカー使用車両22台)、急速充電器修繕整備(2台)を行った。
	(成果・課題等)	急速充電器の増設により、EVレンタカー利用者等の利便性が向上した。	(成果・課題等)	電池交換により航続距離増、利用者の利便性向上が図られた。車両の劣化、急速充電機器類の劣化が進行しており、車両の返却、設備維持費コストの増が見込まれる。
2	(事業名) ながさき巡礼受入体制推進事業 【観光商工課】 (事業目的) 今後増加が予想される巡礼客、各メディア、教会に関する問い合わせ対応など「世界遺産登録」に向けた受入体制を構築する。 (事業概要) 有川港ターミナルに長崎巡礼センター新上五島ステーションを設置し、専門知識を有する常勤職員1名を配置。世界遺産登録を見据えた観光客受入体制の充実を図る。	実施年度	平成25年度～	
		成果指標	ステーション利用者数	
		目標値	1,000人	1,000人
		実績値	1,021人	2,481人
		達成率	101%	248%
		決算（見込）額	1,412千円	1,412千円
		成果指標及び目標値の説明	世界遺産登録を見据えた観光客受入体制の充実を図るため、ステーション利用者数を成果指標とした。利用者計画（1,000人）を目標値として設定した。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	ステーション運営実績 ・巡礼ガイド実績903名 ・ガイド手配78件 ・ミサ手配34件 ・取材対応6件	(取組実績)	ステーション運営実績 ・巡礼ガイド対応 1,278人 ・ガイド手配 89件 1,203人 ・案内、問い合わせ 286件 ・取材対応 2件
	(成果・課題等)	教会・巡礼という専門的知識・対応を要する事業であり、実績数からも十分な成果を得られた。課題としては、職員1名体制では、ガイド対応時にステーション事務所での対応が出来ないため、教会・巡礼に関する常設案内所としての機能が十分でないことや、関連資産の素材整理、情報発信等の業務が挙げられる。	(成果・課題等)	教会・巡礼という専門的知識を要する事業であり、ミサ手配や巡礼ガイドなど、行政や観光物産協会でも対応が難しい業務を遂行できた。職員1名体制では、ガイド対応時にステーション事務所での対応が出来ないため、教会・巡礼に関する常設案内所としての機能が十分でないことや、関連資産の素材整理、情報発信等の業務に課題がある。

3-1-① にぎわいを生む観光の振興（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
3	<p>(事業名)</p> <p>「探訪～四季を味わう上五島」補助事業</p> <p>【観光商工課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>新上五島町の自然、歴史、文化を活かしたイベントを実施することで地域に賑わいを生み、かつイベントの魅力情報を発信することによって、交流人口の拡大を目的としている。</p> <p>(事業概要)</p> <p>探訪～四季を味わう上五島実行委員会に対して補助金を交付している。実行委員会では、四季折々のイベント「ほたるのふるさと相河川まつり」「蛤浜で遊ぼデー&amp;白砂の芸術祭」「上五島教会めぐりウオーク&amp;クルーズ」「チャーチウィークin教会コンサート」「五島列島ノルディックウオーク」の開催や、国内、国外（特に韓国）の旅行会社やメディア等への情報発信を行っている。また、クルーズ船や外国人観光客の受入体制の強化や、新しい観光素材や企画等への支援を行っている。</p>	実施年度	平成18年度～	
		成果指標	観光客延数（年間）	
		目標値	287,000人	287,000人
		実績値	273,545人	261,522人
		達成率	95.3%	91.1%
		決算（見込）額	13,033千円	16,869千円
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、本事業を含む観光振興事業を実施することで、観光客延数【年間】を242,078人（H26）から5年間で287,000人にすることを重要業績評価指標（KPI）として設定している。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	<p>四季折々の観光イベント開催 旅行会社等への誘致活動 クルーズ客船誘致事業</p> <p>などを実施</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>補助金を交付し各種事業を展開したことで、各観光イベントの集客やそれに伴う情報発信の効果で観光客が増えた。また、クルーズ客船が過去最高の6回の寄港に繋がった。</p>	(取組実績)	<p>四季折々の観光イベント開催 旅行会社等への誘致活動 クルーズ客船誘致事業</p> <p>などを実施</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>補助金を交付し各種事業を展開したことで、各観光イベントの集客やそれに伴う情報発信の効果で交流人口の拡大が図られた。また、クルーズ客船が過去最高の8回の寄港に繋がった。</p>
	(成果・課題等)	個人対応型着地型観光旅行商品の企画実施、宿泊施設等研修会、観光客満足度調査等を実施し、観光客受入体制の整備を図った。		
4	<p>(事業名)</p> <p>おもてなしのしま五島プロジェクト事業</p> <p>【観光商工課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>世界遺産登録で五島を訪れる観光客が急増することを見込んでいる。その機会を逸することなく、五島の魅力を伝えることができる着地型観光商品の造成や、新しい観光素材の開発、宿泊施設、観光協会等職員の資質向上を目指した事業を実施することで、町全体のおもてなしの向上を目的としている。</p> <p>(事業概要)</p> <p>五島列島おもてなし協議会へ負担金を支出している。五島列島おもてなし協議会は長崎県五島振興局を事務局に、五島市、小賀値町、新上五島町で連携して、下記3つの事業を柱として実施している。</p> <p>1. 観光関係者のスキルアップ・意識改革 2. 二次交通の整備と着地型旅行商品づくり 3. 観光客満足度調査と情報発信</p>	実施年度	平成27年度～	
		成果指標	観光客延数（年間）	
		目標値	287,000人	287,000人
		実績値	273,545人	261,522人
		達成率	95.3%	91.1%
		決算（見込）額	4,128千円	4,495千円
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、本事業を含む観光振興事業を実施することで、観光客延数【年間】を242,078人（H26）から5年間で287,000人にすることを重要業績評価指標（KPI）として設定している。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	<p>・着地型旅行商品「五島列島キリシタン物語」(旅行企画実施：新上五島町観光物産協会)の実施 ・宿泊施設等研修会 5回開催 延べ参加者数 150人 ・観光客満足度調査 サンプル数3,013人</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>「五島列島キリシタン物語」という着地型旅行商品を造成できたが、全体的な観光客の誘客については課題がある。</p>	(取組実績)	<p>・着地型旅行商品「五島列島キリシタン物語」利用者118人 ・宿泊施設向け視察研修会（大分県湯平）参加者数6人 ・おもてなし講演会 参加者数71人 ・観光客満足度調査 サンプル数3,569人</p> <p>(成果・課題等)</p>
	(成果・課題等)	個人対応型着地型観光旅行商品の企画実施、宿泊施設等研修会、観光客満足度調査等を実施し、観光客受入体制の整備を図った。		

3-1-① にぎわいを生む観光の振興（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
5	(事業名) 五島列島観光周遊連携事業 【観光商工課】	実施年度	平成28年度～	
	(事業目的) 関係自治体と連携して広域的に観光事業等に取り組み、島の文化や豊かな自然を多くの方に情報発信し、さらなる観光客誘客、地域経済の活性化、移住定住の促進を図る。	成果指標	観光客延数（年間）	
		目標値		287,000人
		実績値		261,522人
		達成率		91.1%
		決算（見込）額		44,497千円
		成果指標及び目標値の説明	他の観光振興事業と同様に、総合戦略において設定している目標値である観光客延数【年間】を242,078人（H26）から5年間で287,000人にすることを重要業績評価指標（KPI）として設定している。	
(事業概要) 福岡市とダイレクトアクセスを持つ九州の離島3市2町（対馬市、壱岐市、五島市、新上五島町、鹿児島県屋久島町）の自治体と福岡市による「福岡市・九州離島広域連携協議会」を発足し、広域的に国内外に向けた観光客誘客などに取り組む。また、世界遺産候補の教会群の構成資産が点在する上五島と下五島を海上タクシーで周遊する個人観光客の受入体制整備に取り組む。	取組実績、成果・課題等	(取組実績)  (成果・課題等)	(取組実績) ・観光関連調査・パンフレット、ポスター、動画、ポータルサイト等制作、・雑誌やテレビ、インターネットによる情報発信、・五島列島クリスマスクルーズ利用者 892人 (成果・課題等) 関係自治体と連携して広域的に観光事業等に取り組むことにより、効果的な情報発信が図られ、周遊を促進し、交流人口の拡大が図られた。	
6	(事業名) 新上五島町観光物産協会補助事業 【観光商工課】	実施年度	平成17年度～	
	(事業目的) 本町の観光・物産業者の組織体制の基盤を強化し、本町を訪れる観光客に対して、満足度の高いサービスを提供できるよう、受入体制の整備充実を図る。また、島外からの観光客誘致を進めるとともに、新たな旅行商品の開発にも取り組むなど、観光物産の振興発展に中心的役割の充実を図る。	成果指標	観光客延数（年間）	
		目標値	287,000人	287,000人
		実績値	273,545人	261,522人
		達成率	95.3%	91.1%
		決算（見込）額	16,826千円	22,003千円
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、本事業を含む観光振興事業を実施することで、観光客延数【年間】を242,078人（H26）から5年間で287,000人にすることを重要業績評価指標（KPI）として設定している。	
(事業概要) 観光物産展の参加、島外への情報発信など、誘客活動を精力的に行った。探訪～四季を味わう上五島実行委員会主催のイベント等に事務局として積極的に参加し、町の観光物産振興事業に取り組んだ。また、着地型旅行商品の企画実施をはじめ、「五島神楽」、「漁師の朝飯」、ガイドの会のとりまとめ受付業務などにも取り組んでいる。	取組実績、成果・課題等	(取組実績) ①旅客ターミナル等で観光案内業務や物産販売などを実施（各港及び五島うどんの里等、5ヶ所設置）②個人観光客が参加できる着地型旅行商品「五島列島クリスマス物語～上五島編～」を企画実施（28名参加）③関係者と連携して、団体観光客向けに「五島神楽」や「漁師の朝飯」による観光客誘客に取り組んだ。（五島神楽 26件／654名。漁師の朝飯 91件／2,816名） (成果・課題等) 観光物産振興の発展に中心的役割を果たす観光物産協会と今後も情報共有を行い、連携を図りながら、世界遺産登録を見据えた受入体制の整備に努めていく。	(取組実績) ①旅客ターミナル等で観光案内業務や物産販売などを実施（各港及び五島うどんの里等、4ヶ所設置）②個人観光客が参加できる着地型旅行商品「五島列島クリスマス物語～上五島編～」を企画実施（118名参加）③関係者と連携して、団体観光客向けに「五島神楽」や「漁師の朝飯」による観光客誘客に取り組んだ。（五島神楽 21件／461名。漁師の朝飯 49件／1,383名） (成果・課題等) 観光物産振興の発展に中心的役割を果たす観光物産協会と今後も情報共有を行い、連携を図りながら、世界遺産登録を見据えた受入体制の整備に努めていく。	

3-1-① にぎわいを生む観光の振興（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
7	<p>(事業名)</p> <p>奈良尾新温泉活用施設建設事業</p> <p>【観光商工課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>・健康づくりの環境を整備するため、新温泉を活用し温浴効果を目的にした温泉施設の建設を行い、地域の健康づくりの拠点として健康づくり、福祉サービスを含め、総合的なサービスの提供を図る。また、民間のホテル建設計画に合わせ観光客も利用できる施設整備を図る。</p> <p>(事業概要)</p> <p>・天然資源である温泉を利用した健康づくり、新たなふれあいづくり、交流づくりの場として温泉施設の整備を行い、健康や福祉の増進を図る。</p> <p>→温浴施設 RC造 平屋建 330㎡ 施設概要 男女別内風呂、ロビー、事務室</p>	実施年度	平成27年度～	
		成果指標	事業進捗率（事業費ベース）	
		目標値	100%	100%
		実績値	10.3%	10.3%
		達成率	10.3%	10.3%
		決算（見込）額	19,302千円	28千円
		成果指標及び目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	(取組実績)	(取組実績)	
	(成果・課題等)	(成果・課題等)	(成果・課題等)	
8	<p>(事業名)</p> <p>観光地トイレリニューアル事業</p> <p>【観光商工課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>本町は、西海国立公園に指定されるほど、海と山が織りなす美しい自然景観が素晴らしいため、公園や展望所などを整備し、高齢者をはじめとする多くの島民や観光客に利用されている。早い時期から公園等を整備してきたため、和式トイレが多く高齢者が利用しづらい状況である。世界遺産登録を間近に控え観光客も増加しており観光客受入体制を整備するため、公園や展望所等においてトイレの整備が必要である。</p> <p>(事業概要)</p> <p>高齢者をはじめ多くの島民や観光客が公園や展望所等を利用しやすくするため、公園、展望所等の10箇所に設置している和式トイレを洋式トイレに改修するなどトイレの整備を行う。</p>	実施年度	平成28年度～30年度	
		成果指標	トイレ改修箇所	
		目標値	-	10箇所
		実績値	-	3箇所
		達成率	-	30.0%
		決算（見込）額	-	2,559千円
		成果指標及び目標値の説明	トイレの洋式化が必要な施設数を目標値としている。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	(取組実績)	(取組実績)	
	(成果・課題等)	(成果・課題等)	(成果・課題等)	

3-1-① にぎわいを生む観光の振興（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
9	(事業名) 展望所等景観整備事業 【観光商工課】 (事業目的) 美しい自然や雄大な景観を観光資源として眺望するため、町民や観光客が何度も訪れたいとなるよう眺望スポット（展望所等）の整備を行い、自然景観ブランドとして位置づけるための事業。 (事業概要) 条例で定めている観光公園において、眺望スポット（展望所等）の整備、駐車場や案内板、道路等の整備、眺望に配慮した木々の伐採などの景観整備を行う。 ・マリンピア展望公園 ・鯨見山展望所 ・城山展望所 ・矢堅目公園 ・観音岳公園 ・米山公園	実施年度	平成27年度～	
		成果指標	観光スポット整備数	
		目標値	6ヶ所	6ヶ所
		実績値	1ヶ所	3ヶ所
		達成率	16.7%	50.0%
		決算（見込）額	151千円	734千円
		成果指標及び目標値の説明	観光公園で定めている展望スポット数を目標値としている。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	各施設の維持管理については、定期的に点検を行っている。今年度は米山展望所1ヶ所の草刈を行った。	(取組実績)	上五島空港線沿い及び黒崎園地の伐採を実施し眺望の確保を行った。また、環境省関連事業（町負担無し）により、若松大橋周辺の木々の伐採により景観整備を行った。
	(成果・課題等)	雑草だけでなく雑木などの伐採も検討のうえ、役場関係課等と協議をしていきながら、取り組んでいく。	(成果・課題等)	伐採箇所について、住民や観光客の意見を聞きながら関係各課と協議しながら取り組んでいく
10	(事業名) 高井旅コテージ改修事業 【観光商工課】 (事業目的) ・ログハウス、コテージテラスが塩害により腐食、破損・劣化箇所が多く目立つ。また、転落防止柵に関しては人力で動くほど支柱の腐食がひどく、利用者の転落の危険性があることから整備を行うことを目的とする。 (事業概要) ・コテージ：2棟 ベランダ及びテラス改修 1.0式	実施年度	平成28年度	
		成果指標	事業進捗率（％）	
		目標値	-	100%
		実績値	-	100%
		達成率	-	100%
		決算（見込）額	-	7,119千円
		成果指標及び目標値の説明	事業が完了することにより利用者の安全性の向上が図られるため、事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	-	(取組実績)	計画どおりコテージの改修を行った。
	(成果・課題等)	-	(成果・課題等)	2次製品を使用することにより、維持管理の容易さと長寿命化を図った。

3-1-① にぎわいを生む観光の振興（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
11	(事業名) 船崎海水浴場改修整備事業 【観光商工課】 (事業目的) ・本施設は整備後10年以上が経過しており、休憩舎壁面の剥離・駐車場フェンスの腐食等、破損・劣化箇所が多く目立つ。また、フェンスに関しては人力で動くほど支柱の腐食がひどく、車両及び利用者の転落の危険性があることから整備を行うことを目的とする。 (事業概要) ・休憩舎の天井・壁面等補修 1.0式 ・駐車場フェンス 撤去（既存物）及び設置 1.0式	実施年度	事業進捗率（％）	
		成果指標	-	100%
		目標値	-	100%
		実績値	-	100%
		達成率	-	91.1%
		決算（見込）額	-	1,845千円
		成果指標及び目標値の説明	事業が完了することにより利用者の安全性の向上が図られるため、事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) - (成果・課題等)	(取組実績) 補修工事を行うことにより、利用者の安全確保に努めた。 - (成果・課題等) 建物全体の老朽化が進んでいることもあり、今後大規模改修等の検討を行う必要がある。		
12	(事業名) 奈良尾フラワーロード（福見展望公園）スロープ取付事業 【観光商工課】 (事業目的) ・優れた自然景観や豊かな歴史的遺産等の資源を生かしていくため、公園の利用状況や地域特性を踏まえて展望所のバリアフリー化を行うことを目的とする。 (事業概要) 利用者が安全かつ快適に利用できるように、利用者のニーズに対応した施設整備を行う。 ・スロープ設置 1.0式 ・広場舗装工 1.0式 ・植栽工 1.0式	実施年度	平成28年度	
		成果指標	事業進捗率（％）	
		目標値	-	100%
		実績値	-	100%
		達成率	-	100%
		決算（見込）額	-	2,495千円
		成果指標及び目標値の説明	事業が完了することにより利用者の安全性の向上が図られるため、事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) - (成果・課題等)	(取組実績) 車椅子利用者が快適に利用できるようスロープの設置を行った。 - (成果・課題等) スロープを設置したことにより車椅子利用者も展望所への出入りが安全に行えるようになった。		

3-1-① にぎわいを生む観光の振興（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
13	(事業名) 奈良尾新温泉ポンプ設備改修事業 【観光商工課】 (事業目的) ポンプの落下により停止している設備の復旧を図り、足湯等の施設再開を目的とする。 (事業概要) ポンプ設置工 1.0式 遠隔監視システム設置 1.0式	実施年度	平成28年度	
		成果指標	ポンプ稼働日数	
		目標値	-	365日
		実績値	-	-
		達成率	-	-
		決算（見込）額	-	35,720千円
		成果指標及び目標値の説明	ポンプの稼働日数が、温泉の供給日数に直結しており施設の稼働率に左右することから目標値として設定している。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	-	(取組実績) 計画どおりポンプ設備改修を行った。 ポンプ設置工 1.0式 遠隔監視システム設置 1.0式	
	(成果・課題等)	-	(成果・課題等) 源泉ポンプの安定的な稼働を行うため、遠隔監視システムを取り入れ機器異常の早期発見や対応が可能となった。	
14	(事業名) 蛤浜駐車場整備事業 【観光商工課】 (事業目的) 海水浴場開設期間中の緊急車両の駐車場所として整備することにより緊急時対応を円滑に行うことを目的とする。 (事業概要) アスファルト舗装 A=61.0㎡ 排水工 L=5.8m	実施年度	平成28年度	
		成果指標	事業進捗率（％）	
		目標値	-	100%
		実績値	-	100%
		達成率	-	100%
		決算（見込）額	-	862千円
		成果指標及び目標値の説明	事業が完了することにより利用者の利便性の向上が図られるため、事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	-	(取組実績) 取得用地の舗装を行うことにより利便性の向上に取り組んだ。	
	(成果・課題等)	-	(成果・課題等) 海水浴場開設時の駐車場数が不足しており今後検討していく必要が有る。	

3-1-① にぎわいを生む観光の振興（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
15	(事業名) 五島うどんの里遊麺三昧改築事業 【観光商工課】 (事業目的) 五島うどんの里遊麺三昧の改築工事を行い、飲食スペースの増（席数の増）及び厨房・トイレの拡幅を行うことを目的とする。 (事業概要) 改築工事（増築）を行い、飲食スペースの増（座席数の増）及び厨房・トイレを拡幅する。 ・ 建築工事 1.0式 （増築面積19.85㎡、厨房・トイレ拡幅） ・ 電気設備工事 1.0式 （幹線・動力設備、電灯設備、防災設備） ・ 機械設備工事 1.0式 （衛生設備、空調設備）	実施年度	平成28年度	
		成果指標	事業進捗率（％）	
		目標値	-	100%
		実績値	-	100%
		達成率	-	100%
		決算（見込）額	-	31,799千円
		成果指標及び目標値の説明	事業が完了することにより利用者の利便性の向上が図られるため、事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) - (成果・課題等)	(取組実績) 計画どおり改築（増築）工事を行った。 - (成果・課題等) 増築したことによって、座席数が増え来店者の増加につながった。今後増加していくであろう団体客への対処について検討を行っていく必要がある。		
16	(事業名) ふれ愛らんど防護柵補修事業 【観光商工課】 (事業目的) ・ 本施設は整備後10年以上が経過しており、施設内防護柵の腐食、破損・劣化箇所が多く目立ち強度が低下しており、車両及び利用者の転落の危険性があることから整備を行うことを目的とする。 (事業概要) 防護柵の材質をアルミ及び樹脂製にして塩害対策を行う。 ・ 防護柵既存撤去・設置 L=87.0m	実施年度	平成28年度	
		成果指標	事業進捗率（％）	
		目標値	-	100%
		実績値	-	100%
		達成率	-	100%
		決算（見込）額	-	2,495千円
		成果指標及び目標値の説明	事業が完了することにより利用者の安全性の向上が図られるため、事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) - (成果・課題等)	(取組実績) 計画どおり補修を行った。 ・ 防護柵既存撤去・設置 L=87.0m - (成果・課題等) 施設全体が老朽化しているため、大規模な改修を行う必要がある。		

3-1-① にぎわいを生む観光の振興（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
17	<p>(事業名)</p> <p>パーク&amp;ライド整備事業</p> <p>【観光商工課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の白浜集落に観光客等が増加しており受入体制を整備するため、交通誘導員を配置し、シャトルバスにて送迎する「パーク&amp;ライド方式」の試行・検証を行う。世界遺産をはじめ、島の情報発信を行いつつ、祈りの島インフォメーションセンターを設置し将来に向けた適切な保存・活用を行う。</p> <p>(事業概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シャトルバス等によるパーク&amp;ライドの実施</li> <li>・観光パンフレット（多言語）の増刷</li> <li>・祈りの島インフォメーションセンターにて町内の文化財等の価値を正確に伝え、将来に向けて適切な保存・活用</li> </ul>	実施年度	平成28年度～平成30年度	
		成果指標	頭ヶ島入込車輛数	
		目標値	-	10,000台
		実績値	-	12,138台
		達成率	-	121%
		決算（見込）額	-	10,248千円
		成果指標及び目標値の説明	地区への入場者の管理を行うため車輛数を目標値として設定した。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>	<p>(取組実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パーク&amp;ライドを実施</li> <li>・パンフレット、教会拝観ハンドブック作成</li> <li>・来場者アンケート調査分析</li> <li>・祈りの島インフォメーションセンター開設</li> </ul> <p>(成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車輛12,138台/年 (内)パーク&amp;ライド誘導1,963台</li> <li>・来場者35,249人/年 (内)パーク&amp;ライド誘導4,800人</li> <li>・パーク&amp;ライド等、そのシス</li> </ul>		
18	<p>(事業名)</p> <p>しま共通地域通貨事業</p> <p>【観光商工課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>島外からの来島用のプレミアム付地域通貨を販売し、地域産業の活性化を図る。長崎県内の複数のしま共通で使えるプレミアム付き地域通貨を発行し、全国からの観光客やビジネス客をしまに誘致し、しまでの消費促進を図り、しまの地域経済を活性化する。また、しまが持つ特色や地域資源を全国に向けたPRすることで、交流人口の増加を通じて、しまの人口減少に歯止めを掛ける。</p> <p>(事業概要)</p> <p>しま共通地域通貨の販売。 長崎県内離島において、共通で使用できる2割プレミアム付き商品券『しまとく通貨』を発行する。 プレミアム付地域通貨の販売 販売所：6ヶ所(町内) プレミアム付地域通貨の利用 加盟店：110事業所(町内)</p>	実施年度	平成25年度～	
		成果指標	観光消費額（年間）	
		目標値	5,388百万円	5,388百万円
		実績値	4,741百万円	4,506百万円
		達成率	88.0%	83.6%
		決算（見込）額	75,434千円	47,134千円
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、本事業を含む観光振興事業を実施することで、観光消費額【年間】を4,560百万円（H26）から5年間で5,388百万円にすることを重要業績評価指標（KPI）として設定している。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>新上五島町換金実績 4億6,364万5千円（県全体換金実績 41億9,067万3千円）</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>平成28年1月でしまとく通貨の発売は終了し、平成28年10月（一般販売は11月）から電子通貨として販売を開始する。来島者の利便性の向上及び取り扱い事務作業の簡素化ができるシステム構築する。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>新上五島町換金実績 3,660万2千円（県全体換金実績 2億9,141万7千円）</p> <p>島内しまとく加盟店112店舗（H29.3.31） しまとく販売所7ヶ所（H29.3.31）</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>紙媒体から電子通貨に変更になり利便性は向上したが、利用者が若年層へと推移、また閑散期対策としての販売となり（一般販売期間が10月～3月）販売数が減少した。</p>		

3-1-① にぎわいを生む観光の振興（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
19	(事業名) 頭ヶ島受入体制整備事業 【観光商工課】	実施年度	平成28年度～平成30年度	
	(事業目的) 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の白浜集落に観光客等が増加しており、狭隘な道路、駐車場不足、車輛の騒音、排ガスなど、一度に多くの来場者に対応するため交通誘導員を配置し、また、空港施設を活用したシャトルバス送迎の「パーク&ライド方式」の試行・検証を行う。 その他、世界遺産をはじめ、島の情報発信を行う。つづき、折りの島インフォメーションセンターを設置し、将来に向けた適切な保存・活用を行う。	成果指標	頭ヶ島集落への自動車流入抑制	
	(事業概要) ・頭ヶ島集落の交通混雑を緩和するためにパーク&ライド方式による試行・検証を行う。 交通誘導員1～3人及びシャトルバスの配置 ・パーク&ライドの周知をはじめ、島内の情報を網羅した観光パンフレット（多言語）を増刷し、観光関係事業所、宿泊施設、島外関係施設等にも配布、情報発信を行い、観光客の島内周遊及び宿泊を促進する。 ・空港内設置した折りの島インフォメーションセンターにて町内の文化財等の価値を正確に伝え、将来に向けて適切な保存・活用を図る。	目標値	-	12,138台
		実績値	-	1,963台
		達成率	-	16.2%
		決算（見込）額	-	14,673千円
		成果指標及び目標値の説明	年間の入込車輛台数に対し、パーク&ライドによる乗換えを行った車輛台数を目標値とした。	
	取組実績、成果・課題等	(取組実績)  (成果・課題等)	(取組実績) ・パーク&ライドを実施 ・車輛12,138台/年（内）パーク&ライド誘導1,963台 ・来場者35,249人/年（内）パーク&ライド誘導4,800人 ・パンフレット、教会拝観ハンドブック作成 ・来場者アンケート調査分析 ・折りの島インフォメーションセンター開設  (成果・課題等) ・パーク&ライドを通常実施していくための維持に費用がかかる。	
20	(事業名) 島の宝を活用した魅力情報発信強化事業 【文化財課】	実施年度	平成27年度～	
	(事業目的) 世界遺産登録を控え来島者が年々増加している中で、海の玄関口である有川港ターミナル内の鯨賓館ミュージアムに新しい映像システムを構築し、インフォメーション機能の充実を図るとともに、町指定文化財や観光地が一目でわかる情報発信システムを構築する。また、町内の伝統芸能を保存・継承していくための伝統芸能大会の開催や島外でのイベントに積極的に参加することにより、島の魅力の情報発信を行う。	成果指標	文化財の整備・保存件数（年間）	
	(事業概要) 情報発信システムの強化と、新しい映像コンテンツの製作、伝統芸能の継承と情報発信により、島の魅力をより多くの訪問者に伝える。 ・映像システムの構築 ・映像ソフトの作成 ・郷土芸能大会の開催 ・文化財等の案内板設置 ・歴史文化ガイドブックの作成 ・町内文化遺産の企画展示	目標値	5件	3件
		実績値	3件	2件
		達成率	60%	66.7%
		決算（見込）額	1,998千円	8,988千円
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、文化財の整備・保存数【年間】を3件（H26）から5年間で5件にすることを重要業績評価指標（KPI）として設定している。	
	取組実績、成果・課題等	(取組実績) ・映像コンテンツに「上五島の観光地」及び「上五島の教会」を追加した。 ・老朽化し作動していなかった機器をタッチパネル化し、確実に作動するようにした。  (成果・課題等) エアサイネージ以外にもターミナルの空きスペースなどを活用し、展示品を充実するなど、更なる新上五島町の情報発信が必要ではないかと考える。	(取組実績) ①町内の歴史文化を伝える映像ソフトの製作（6種類）②世界文化遺産候補「頭ヶ島の集落」等の増設展示（壁面什器、ローケース×3基）③郷土芸能大会の開催（近隣市での公演参加、町内での神楽大祭開催、パンフレット作成）  (成果・課題等) 海の玄関口でもある鯨賓館ミュージアムの情報発信及び機能充実を図ることができた。地域から期待される役割を担えるようさらなる充実を図る。	

3-1-① にぎわいを生む観光の振興（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
21	<p>(事業名) 宿泊施設受入体制支援事業</p> <p>【観光商工課】</p> <p>(事業目的) 町内の宿泊施設の受入環境の充実による国内外からの交流人口の拡大を図り、観光振興及び地域経済の活性化を図る。</p> <p>(事業概要) 町内の宿泊施設の受入環境の充実を図るために行われる宿泊施設の新築、増改築、改修工事等を実施する者に対して支援を行う。</p>	実施年度	平成28年度～	
		成果指標	観光客延宿泊者数（年間）	
		目標値	-	124,000人
		実績値	-	115,689人
		達成率	-	93.3%
		決算（見込）額	-	49,857千円
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、本事業を含む観光振興事業を実施することで、観光客延宿泊者数【年間】を106,060人（H26）から5年間で124,000人にすることを重要業績評価指標（KPI）として設定している。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	(取組実績) 本事業を活用し、旅館営業11件、簡易宿所営業8件（うち新規3件）、ホテル営業1件、農林漁業体験民宿2件、計22件の宿泊施設の受入環境の整備を図ることができた。		
	(成果・課題等)	(成果・課題等) 本事業により、多くの宿泊施設が受入環境の整備を行うきっかけとなったこと、特に新たに3件の宿泊施設ができたことにより、国内外からの観光客の受入体制の整備が図られた。		
22	<p>(事業名) 上五島カンコロ倶楽部推進事業</p> <p>【観光商工課】</p> <p>(事業目的) ふるさと応援団「上五島カンコロ倶楽部」は、本町に関する情報を発信し、本町の活性化を支援する方の輪を広げ、観光客の誘客と特産品のPRを図る事業であるが、更なる認知度向上と地場産業の振興強化を図る。</p> <p>(事業概要) 認知度の向上と地場産業の振興を強化していくため、頑張る生産者や事業者等と連携し、ふるさと応援寄附金と連動して一体となった情報発信を行っていく。 年部費 10,000円（7月以降入会は5,000円） 特典 特産品ギフト発送・町観光物産センター買い物時プレゼント</p>	実施年度	平成25年度～	
		成果指標	倶楽部会員数	
		目標値	73名	88名
		実績値	88名	52名
		達成率	120.5%	58.4%
		決算（見込）額	-	-
		成果指標及び目標値の説明	上五島カンコロ倶楽部の会員数を確保し、本町の活性化を支援する方の輪を広げ、特産品のPRを図るため、前年度の会員数を目標値として設定している。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	(取組実績) 88名の会員に、特産品詰め合わせを送付（年2回）した。 会員部費納入額 1,289千円 特産品商品額 1,289千円		
	(成果・課題等)	(成果・課題等) ふるさと応援寄附金制度との差別化が難しくなっている。 事業の内容を整理する必要がある。		

3-1-① にぎわいを生む観光の振興（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
23	<p>(事業名)</p> <p>観光物産大使事業</p> <p>【観光商工課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>新上五島町にゆかりがあり、町外に居住する方で、本町の観光振興に寄与すると思われる方を観光物産大使と委嘱し、町の観光資源や魅力を様々な機会を通して発信していただくことで、自然豊かな自然環境や観光情報を広く紹介し、交流人口の拡大、観光振興とイメージアップを図る。</p> <p>(事業概要)</p> <p>本町にゆかりのある文化人や芸能人を大使として任命し、大使の活躍するあらゆる機会を通じた紹介・宣伝のPR活動を行っていただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名刺や広報を含めた観光情報の送付</li> <li>・3年に1回更新</li> </ul>	実施年度	平成18年度～	
		成果指標	観光物産大使数（人）	
		目標値	47人	50人
		実績値	36人	39人
		達成率	76%	78%
		決算（見込）額	-	281千円
		成果指標及び目標値の説明	観光物産大使の増員を図るため、過去最高値だった平成26年度の47人を参考に、それを少し上回る50人に目標値を設定。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>36名の大使に名刺や広報を含めた観光情報を発送し、本町のPR活動を依頼した。更新により11名の減となった。</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>大使の数を増やすことができなかった。これまで以上にPRを行い大使の数を増やしていく。また、『PR大使育成事業』とも運動しながら事業を進めていく。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>39名の大使に名刺や広報を含めた観光情報を発送し、本町のPR活動を依頼した。新規追加により3名の増。</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>大使が3名増えたが、目標値には届かないため、『PR大使育成事業』とも運動しながら、これからもPRを行い大使数の増加に務める。また、大使の役割やメリットについても明確化していく必要がある。</p>		

3-1-② 国際交流・地域間交流の推進

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
1	<p>(事業名)</p> <p>首都圏大学生誘致事業</p> <p>【総合政策課】</p> <p>(事業目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏の大学生が地元の人では気づかない町の魅力を発掘し、その魅力を映像撮影、編集しネット配信することで町の認知度を上げる。また、各大学へPR活動を実施することで大学生の誘致につなげ、交流人口の拡大につなげる。【H25-27】</li> <li>・大学生等が島の様々な事業所にてインターンシップ生として就業し、労働力の提供と同時に、SNS等での島の情報発信を実施し交流人口の拡大につなげる。【H28- 】</li> </ul> <p>(事業概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に首都圏大学生をターゲットとし、大学生が大学生の目線で、大学生向けに本町の魅力を発信し、大学生の誘致につなげ、交流人口の拡大を図る。【H25-27】</li> <li>・インターンシップの受け入れが可能な町内事業所と、都会ではできない就業体験を望む学生とのマッチングを行い、島おこしインターンシップとして地域活性化のための支援を行う。【H28- 】</li> <li>・インターンシップを実施した事業所及び大学生や専門学校生等に対して謝金、補助を行う。</li> </ul>	実施年度	平成27年度～	
		成果指標	観光客延宿泊者数（年間）	
		目標値	124,000人	124,000人
		実績値	119,637人	115,689人
		達成率	96.5%	93.3%
		決算（見込）額	1,635千円	160千円
		成果指標及び目標値の説明	交流人口の拡大により、宿泊客数が増えると想定し、観光客延宿泊者数を成果指標とした。なお、目標値については、総合計画上は90千人となっているが、総合戦略策定時に124千人としているため、それを適用している。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>首都圏大学生による新上五島町の魅力発信（PR用チラシ・クリアファイル作成、PR用WEBサイト再構築、首都圏大学へのPR活動実施）</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>大学生目線での大学生向け情報発信ができた。波及効果でサークル等の来島を期待していたが、実現に至らなかった。他の手法の検討が必要。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>インターンシップ実施者等へ支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生誘致補助金 6名×1万円</li> <li>・受入事業所への謝礼 2事業所×5万円</li> </ul> <p>(成果・課題等)</p> <p>受入事業者を増やし、インターン生の充実を行う必要がある。</p>		

3-1-② 国際交流・地域間交流の推進（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
2	<p>(事業名) 長崎県立大学との相互協定事業</p> <p>【総合政策課】</p> <p>(事業目的) 地域の様々な問題に対し、大学がもつノウハウを活用して、課題解決につなげる。また、事業をきっかけに交流人口の拡大につなげる。</p> <p>(事業概要) 本町が抱えている課題に対して、大学がもつノウハウを活用しながら課題解決に向けて取り組む事業。 H27年度は、次の3事業を実施。 ①住民の健康増進と生活習慣予防のための運動普及事業 ②人口減少対策に向けたガイドライン作成事業 ③町民が歩きたくなるウォーキングコースマップの作成事業</p>	実施年度	平成27年度～	
		成果指標	観光客延宿泊者数（年間）	
		目標値	124,000人	124,000人
		実績値	119,637人	115,689人
		達成率	96.5%	93.3%
		決算（見込）額	1,635千円	1,292千円
		成果指標及び目標値の説明	交流人口の拡大により、宿泊客数が増えると想定し、観光客延宿泊者数を成果指標とした。なお、目標値については、総合計画上は90千人となっているが、総合戦略策定時に124千人としているため、それを適用している。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	<p>①働き盛り世代を対象とした運動教室を開催し、習慣化を図った。</p> <p>②町内イベント等で町民のヒアリング調査を実施。</p> <p>③ウォーキングマップ5コースを作成。</p>	<p>①ウォーキングコースマップ・健康まつりで10コースを展示・成果報告会開催</p> <p>②人口減少対策ガイドライン・町民へのヒアリング調査等の結果をもとに「新上五島町100年プロジェクト」として報告書提出</p>	
	(成果・課題等)	<p>①生活習慣の改善に効果があったことから事業化する。</p> <p>②H28は住民が思うガイドラインの作成につなげる必要がある。</p> <p>③他課でもマップ作成を行っていることから、連携が必要。</p>	<p>各課へ課題解決に向けて取り組む事業を募集するものの応募がない状況にある。</p>	
3	<p>(事業名) 五島の日登録を契機とする交流推進事業</p> <p>【総合政策課】</p> <p>(事業目的) 合併10周年を記念して5月10日を「五島の日」に制定したことを契機に、町の魅力を広く町内外にPRし、交流人口の拡大を図る。</p> <p>(事業概要) 「五島の日」を契機とし、町内外に町の魅力を広くPRし、交流人口を拡大するイベントを開催する。 H27年度は、次の2事業を実施。 ①Sunset Live in KAMIGOTO（フラダンスやバンド演奏、花火打上など）開催 ②ざあーまに撮って上五島フォトコンテスト開催 H28年度は、次の2事業を実施。 ①ざあーまに撮って上五島フォトコンテスト開催 ②五島の日啓発活動実行委員会補助金</p>	実施年度	平成27年度～	
		成果指標	観光客延宿泊者数（年間）	
		目標値	124,000人	124,000人
		実績値	119,637人	115,689人
		達成率	96.5%	93.3%
		決算（見込）額	1,635千円	1,632千円
		成果指標及び目標値の説明	交流人口の拡大により、宿泊客数が増えると想定し、観光客延宿泊者数を成果指標とした。なお、目標値については、総合計画上は90千人となっているが、総合戦略策定時に124千人としているため、それを適用している。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	<p>①来場者：550名 出演者：112名（内島外10名）</p> <p>②応募数：157点（町内98点・町外59点） Facebook延20千人が閲覧</p>	<p>①応募数：120点（町内83点、町外37点）、応募者数：53名（町内26名、町外27名）</p> <p>②来年度のイベント実施に向けた協議とPR活動を実施（のぼり、ポスター作成）</p>	
	(成果・課題等)	<p>①来場者からスタッフまで含め、約700名の交流が図られた。</p> <p>②ふるさとの魅力を再発見することにつなげ、SNSにより全国に島の魅力を発信することができた。</p>	<p>イベントを成功させるためには町内各種団体が連携し、一体となって取り組んでいく必要がある。</p>	

3-1-② 国際交流・地域間交流の推進（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
4	<p>(事業名)</p> <p>510列島まつり運営負担金事業</p> <p>【観光商工課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>5月10日（510＝ごとう）にあわせ、五島市と新上五島町が連携し、五島の魅力（特産品、食、伝統芸能等）を長崎へ凝縮して持って行き、来場者の目・耳・胃袋に五島列島をアピールすることで、観光客の誘致と特産品販売につなげる。</p> <p>(事業概要)</p> <p>島外で、五島市と新上五島町の観光PRと特産品の販売及び郷土芸能を披露するなど、五島列島の魅力をアピールする。</p>	実施年度	平成25年度～	
		成果指標	イベント来場者数	
		目標値	25,000人	25,000人
		実績値	26,500人	16,800人
		達成率	106%	67%
		決算（見込）額	1,428千円	1,076千円
		成果指標及び目標値の説明	初回（H25年度）来場者数23,000人に、2,000人増の25,000人を来場者数目標25,000人（H26～H27）とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	<p>・5月8日（金）～10日（日）の3日間で開催</p> <p>・夢彩都横おくち広場</p> <p>・来場者数26,500人</p> <p>・特産品販売額14,370千円</p>	<p>・5月13日（金）～15日（日）の3日間で開催。</p> <p>・夢彩都横おくち広場</p> <p>・来場者数 16,800人</p> <p>・特産品販売額 10,060千円</p>	
	(成果・課題等)	<p>イベント来場者数や特産品等販売額については、回を重ねることに増加しており、五島の魅力発信と特産品の売上増に繋がっている。</p>	<p>イベント来場者数や特産品等販売額については、回を重ねることに増加しており、五島の魅力発信と特産品の売上増に繋がっている。</p>	
5	<p>(事業名)</p> <p>しまのキャンパス体験補助事業</p> <p>【観光商工課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>島外からの修学旅行や文化スポーツ合宿等は、本土からの高い運賃が主な阻害要因となり費用が高額となるため、本町では実施しにくい状況である。これらの助成措置として往復の運賃、宿泊費、体験学習料の一部を助成し、交流人口の拡大を図る。</p> <p>(事業概要)</p> <p>(1) 修学旅行推進事業                      補助対象：小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び高等専門学校                      補助金の額：修学旅行生1人あたり1泊目7,500円、2泊目以降は1人あたり2,500円を加算</p> <p>(2) 島外団体誘致推進事業                      島外からの1泊以上の文化スポーツ合宿、スポーツ大会、交流試合、サークル活動等を実施する小・中・高校生及び大学生で構成する10人以上の団体、文化スポーツ合宿等を企画・実施する旅行会社                      補助金の額：児童、生徒及び学生1人あたり2,000円</p>	実施年度	平成23年度～	
		成果指標	島外学生宿泊者数	
		目標値	1,000人	1,000人
		実績値	1,189人	1,264人
		達成率	118.9%	126.4%
		決算（見込）額	2,378千円	3,418千円
		成果指標及び目標値の説明	H26学生宿泊者数（補助対象者）886人を超える、1,000人を目標とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	<p>島外からの文化スポーツ合宿等の団体 40団体に助成。</p> <p>宿泊者実数1,189人</p> <p>延宿泊人数2,246人</p>	<p>島外からの文化スポーツ合宿等の団体 44団体に助成。</p> <p>宿泊者実数1,264人</p> <p>延宿泊人数2,386人</p>	
	(成果・課題等)	<p>修学旅行の誘致には繋がらなかったが、文化スポーツ合宿等で目標以上に多くの学生に来島していただくことができたので、今後も継続して事業を推進する。</p>	<p>修学旅行の誘致には繋がらなかったが、文化スポーツ合宿等で目標以上に多くの学生に来島していただくことができたので、今後も継続して事業を推進する。</p>	

3-1-② 国際交流・地域間交流の推進（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
6	<p>(事業名) 外国人観光客誘致推進事業 【観光商工課】</p> <p>(事業目的) 海外からの交流人口拡大及び地域経済の活性化を図る。</p> <p>(事業概要) 5名以上の海外からの団体ツアー客で、新上五島町内の宿泊施設に宿泊した者1名につき3,000円を乗じた金額を、旅行会社または、ツアーオペレーターへ補助金として交付している。</p>	実施年度	平成24年度～	
		成果指標	外国人観光客	
		目標値	1,000人	1,000人
		実績値	1,112人	577人
		達成率	111%	57.7%
		決算（見込）額	2,700千円	1,731千円
		成果指標及び目標値の説明	平成25年度から平成26年度にかけて倍増しており、平成26年度実績543人のほぼ倍数の1,000人を目標とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	外国人観光客誘致推進事業補助金を交付。 交付件数31件 対象外国人観光客数900人	(取組実績)	・来訪者：中国46、香港2・スイス3、タイ5、韓国727、他2 【外国人誘客事業費補助金利用者数 26団体 577人】
	(成果・課題等)	補助金の額は限られているので、補助金に変わる魅力を発信できればよいのだが、長崎県内はキリスト教関連遺産が多く、他地域との差別化が難しい現状がある。	(成果・課題等)	熊本震災の影響によりH27年度より下がっているが、確実に誘客に繋がっている。韓国からのキリスト教巡礼客が大多数で、地元信者や住民とのつながり等、交流人口拡大につなげていく。
7	<p>(事業名) 外国語指導助手招致事業 【学校教育課】</p> <p>(事業目的) 国際化社会に対応した教育の推進の一環として、外国語（英語）教育、英語活動の充実に資するとともに、国際理解教育の一層の推進を図ることを目的とする。</p> <p>(事業概要) 外国語指導助手（ALT）4人体制の下、各小中学校及び幼稚園へ派遣し、外国語（英語）教育、国際理解教育の充実に図る。</p>	実施年度	平成17年度～	
		成果指標	外国語指導助手（ALT）の人数	
		目標値	4人	4人
		実績値	4人	4人
		達成率	100%	100%
		決算（見込）額	18,905千円	18,883千円
		成果指標及び目標値の説明	各小中学校及び幼稚園へ派遣し、外国語（英語）教育、国際理解教育の充実に図るため、外国語指導助手（ALT）を4人を確保することを目標とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	外国語指導助手（ALT）4人を各小中学校及び幼稚園に派遣した。	(取組実績)	外国語指導助手（ALT）4人を各小中学校及び幼稚園に派遣した。
	(成果・課題等)	外国語（英語）教育の推進、国際理解教育の充実に図ることができた。	(成果・課題等)	外国語（英語）教育の推進、国際理解教育の充実に図ることができた。

3-1-② 国際交流・地域間交流の推進（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
8	<p>(事業名)</p> <p>未来にはばたく海外研修補助事業</p> <p>【学校教育課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>グローバル化の進む国際社会において、国境を越えた国際交流は不可欠なものになりつつあり、日本人としての自覚を持ち主体的に生きていく上で必要な資質や能力の基礎を培い、国際理解教育を進めることは、非常に重要になっている。</p> <p>そこで、国政性豊かな人材の育成を目指して、海外研修を実施する。夏休みを利用して、町内の各中学校から選出した生徒の海外研修を行うことによって、国際理解教育の推進を図ること</p> <p>(事業概要)</p> <p>アジア圏で英語を公用語とするシンガポール共和国を訪問国に選り海外研修を実施し、学校交流など現地の人々とのコミュニケーションを体験することによって異国の文化や生活様式を学ぶ。</p>	実施年度	平成25年度～	
		成果指標	参加人数	
		目標値	8人	14人
		実績値	8人	14人
		達成率	100%	100%
		決算（見込）額	3,000千円	3,000千円
		成果指標及び目標値の説明	町内の各中学校から選出した生徒の海外研修を行うことによって、国際理解教育の推進を図ることを目的としているため、事業計画における参加者数を目標とした。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>8月2日から7日までの5泊6日 生徒8人、引率3人 事前研修会6回、事後研修会3回を実施し、海外研修後は参加生徒が所属する中学校において成果発表を行った。</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>シンガポール共和国を訪問し、学校交流など現地の人々とのコミュニケーションを体験することによって異国の文化や生活様式を学んだ。本事業を実施することで、国際社会で活躍する人材を育てる外国語教育の推進が図られる。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>7月31日から8月5日までの5泊6日 生徒14人、引率3人 事前研修会6回、事後研修会3回を実施し、海外研修後は参加生徒が所属する中学校において成果発表を行った。</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>シンガポール共和国を訪問し、学校交流など現地の人々とのコミュニケーションを体験することによって異国の文化や生活様式を学んだ。本事業を実施することで、国際社会で活躍する人材を育てる外国語教育の推進が図られる。</p>		